

授業評価・授業研究報告書

家政教育・藤田昌子

1. 授業の概要

(1) 対象授業の科目区分など

【対象授業の科目区分】

学校教育実践コース（家政教育専修）・生活環境コース

【科目名】生活経営学

【登録学生数】38名（対象は2回生で，中学校家庭科および高等学校家庭科の教員免許の取得をめざす学生，コース選択科目として生活環境コースの学生が履修している。）

(2) シラバスに掲げられた授業の目的，到達目標，関連するディプロマ・ポリシー（DP）

【目的】生活者として当事者意識をもって多面的な視座から生活の実態を把握し，個人の生活と社会とのかかわりについて考えることを通じて，私たちの生活の背景にある現代社会の諸課題を客観的にとらえ，問題解決できる生活者としての知識と資質を身につける。

【授業の到達目標】

- 1) 私たちの生活の背景にある現代社会の諸課題を客観的に把握できる。
- 2) 1) で把握した諸課題の解決に必要な知識を理解し，説明できる。
- 3) 変化した生活環境・多様化した価値観のなかで，生活者として主体性のある意思決定の視点をもつことができる。

【ディプロマ・ポリシー】

DP1 教科・教職に関する確かな知識と，得意とする分野の専門的知識を修得している。

(3) 授業の内容の概要

- 第1回 生活経営学基礎論(1)
家政学とは，生活経営学とは
- 第2回 生活経営学基礎論(2)
現代の生活における諸課題
- 第3回 生活経済と生活経営(1)
生活資源とは，家計管理
- 第4回 生活経済と生活経営(2)
クレジットと多重債務
格差社会と生活経営(1) 社会保険①

- 第5回 格差社会と生活経営(2) 社会保険②
- 第6回 格差社会と生活経営(3)
ワーキングプアとセーフティネット
- 第7回 格差社会と生活経営(4)
住生活のマネジメント
- 第8回 格差社会と生活経営(5)
ハウジングプアと住まう権利
共生社会と生活経営
共生社会の視点
- 第9回 男女共同参画社会と生活経営
ジェンダーバイアス
- 第10回 格差社会と生活経営(6)
教育の貧困と学ぶ権利
- 第11回 格差社会と生活経営(7)
公的扶助（生活保護）
- 第12回 格差社会と生活経営(8)
自分や仲間の働く権利を守る①
- 第13回 格差社会と生活経営(9)
自分や仲間の働く権利を守る②
- 第14回 格差社会と生活経営(10)
自分や仲間の働く権利を守る③
- 第15回 定期試験・振り返り

(4) 授業の方法の工夫

- ①シミュレーション，グループワーク，KJ法，ゲーム形式，模擬交渉などの参加型学習を多用する
- ②体験学習（アクセシビリティの検証）を行う
- ③労働相談の専門家との連携

2. 授業評価・授業研究

(1) 学部DPとの対応

受講生 24名から回答があり，下記のような結果であった。本授業のDPであるDP1が対応していた（とてもそう思う＋ある程度そう思う）とする学生が，1Aで95.7%，1Bで91.7%となっており，学部DPに対応した授業内容であったといえる。また，その他のDPに関しても80～100%の学生が対応していると回答していた。

DP 1 知識・理解

1 A この授業では教育に関する確かな知識を得ることができる

とてもそう思う	66.7%
ある程度そう思う	29.2%
あまりそう思わない	0%
DP と無関係	4.2%

1 B この授業では自分の専門分野の知識を得ることができる

とてもそう思う	66.7%
ある程度そう思う	25.0%
あまりそう思わない	4.2%
DP と無関係	4.2%

(参考)

DP 2 思考・判断

2 A この授業では教育をめぐるさまざまな現代的課題について理解することができる

とてもそう思う	62.5%
ある程度そう思う	20.8%
あまりそう思わない	0%
DP と無関係	16.7%

2 B この授業では教育の現代的課題に対して適切な対応方法を考えることができる

とてもそう思う	54.2%
ある程度そう思う	33.3%
あまりそう思わない	4.2%
DP と無関係	8.3%

DP 3 技能・表現

3 A この授業では教育活動に取り組むために必要な技能を身につけることができる

とてもそう思う	37.5%
ある程度そう思う	33.3%
あまりそう思わない	16.7%
DP と無関係	12.5%

3 B この授業では教育活動に取り組むために必要な表現力を身につけることができる

とてもそう思う	29.2%
ある程度そう思う	54.2%
あまりそう思わない	4.2%
DP と無関係	12.5%

DP 4 関心・意欲

4 A この授業では自己の学習課題を明確にすることができる

とてもそう思う	41.7%
ある程度そう思う	58.3%
あまりそう思わない	0%

DP と無関係 0%

4 B この授業では理論と実践を結びつけた主体的な学習ができる

とてもそう思う	29.2%
ある程度そう思う	58.3%
あまりそう思わない	8.3%
DP と無関係	4.2%

DP 5 態度

5 A この授業では専門的職業人としての使命感や責任感を身につけることができる

とてもそう思う	41.7%
ある程度そう思う	29.2%
あまりそう思わない	8.3%

DP と無関係 20.8%

5 B この授業では多世代にわたって対人関係を形成する力を身につけることができる

とてもそう思う	50.0%
ある程度そう思う	37.5%
あまりそう思わない	4.2%
DP と無関係	8.3%

(2) 授業振り返りシートの学生の学びより

特に、労働、社会保障（社会保険や生活保護）、共生社会、家計管理に関する内容が有意義な学びができたとしている。例えば、労働に関しては、自分のアルバイトの労働環境を見直すきっかけとなったようで、多くの学生が「アルバイトや就職先を探すとき、今までより条件をしっかりとみるようになった」「労働契約の内容を見直してみた」「労働した日数や時間をメモするようになった」「給与明細をしっかりと見るようになった」としている。なかには、アルバイトのことで相談・交渉した学生もみられ（未払いの給与を支払うように雇用主に要求するなど）、授業で修得した専門的知識を現代的課題に対する問題解決に活かしていたといえる。

3. 地域社会を核とした教育と研究のつながり

本授業では、愛媛県内の大学生を対象としたアルバイトに関する実態調査の研究成果を活かすとともに、県内の専門家との連携により、県内の労働者（特に若者）の実態と生の声を拾い上げた。そのことで、学生たちはリアルな現実に基づいて現代社会の諸課題について学習することができ、学びを今後の生活や教育に活かしていこうとする姿がみられた。